



宇都宮市立西原小学校 学校だより

にしはら

3月号
令和8年3月26日
西原小学校
校長 金子 渉
学校HPは
こちら⇒

感謝でつなぐバトン♡卒業をいろう会♡

卒業式に出席できない1~4年生が、6年生へ感謝を伝える「卒業をいろう会」が2月25日に開かれました。

~~ご卒業おめでとう特集~~

やわらかな春の日差しが降り注ぐ中、令和7年度卒業証書授与式を3月19日に挙行了しました。厳かな雰囲気の中、卒業生の凛とした表情からは、これまでの歩みと確かな成長が感じられました。

式辞では、これから新しい世界へ踏み出す卒業生へ「人生で壁にぶつかった時こそ、自分自身のそれまで積み重ねた努力を信じる心、そして仲間や周りの人を信じ、頼る心で乗り越えてほしい」とエールを送りました。



「別れのことば」では、卒業生と在校生代表の5年生が、感謝の気持ちと未来への抱負を堂々と響かせ、絆のバトンが次代へ引き継がれる頼もしさを感じました。圧

巻だったのは、卒業生による合唱です。これまでも集会で聞く歌声は大きくてよく響く素晴らしいものでしたが、体育館一杯に響き渡る透き通った歌声は、聴く者の心を揺さぶり、そっと涙を拭う保護者の方々も多く見られました。



6年間、ひたむきに頑張り続けた卒業生の皆さん、皆さんの前途に幸多からんことを西原小職員一同願っています。



チェッコリ玉入れやお玉で球運び、バケツリレーなど、対決スタイルで6年生に挑みました。ハンディを背負いなが

昨年までの学年ごとの出し物と違い、今年の5年生を中心とした中央委員が企画したのは、ユニークな「6年生への挑戦状」。学年ごとに、



らも全力で応える6年生の胸を借り、下級生は負けじと張り切り、会場は笑顔と歓声に包まれました。対決の後は、下級生が心を込めて作ったメッセージカードを贈りました。縦割り班活動でお世話になったり、ウォークラリーと一緒に謎解きをしたり、思い出と共に感謝の気持ちが書かれたカードに、涙ぐむ6年生もいました。そして、6年生からは手作りの花雑巾がお礼として贈られました。

この温かな交流を通し、在校生は6年生の背中の子の大きさを改めて実感したようです。そして立派に大役を果たした5年生に『元気・がんばり・思いやり』のバトンは、確実に引き継がれました。

この1年の子どもたちの成長に感謝♡♡♡

2月10日に行われた今年度最後の授業参観は、子どもたちが1年間で学んできたことを発表する集大成の場となりました。



緊張しながらも、一生懸命に調べたり、まとめたりしてきた成果を堂々と披露する姿は、大変感動的でした。どの学年も、自身の確かな成長を保護

<1年「もうすぐ2年生」>
者の皆様には、心より感謝申し上げます。皆様の温か



<4年「十歳の祝い」>

な応援が、子どもたちにとって何よりの大きな励みとなります。今後も子どもたちのさらなる成長を見守り、共に支えていければと教職員一同、心から願っております。



<5年「ふるさと西原再発見」>

2年間、本当にありがとうございました！

この3月をもちまして、2年間の校長としての勤務を終えることとなりました。17年前に本校に教員として在籍した時から、変わらぬ皆様方の温かな支えに包まれ、たいへん充実した日々を過ごせましたことに心より感謝申し上げます。

保護者の皆様にあつては、毎日の家庭学習や「うち読」、お弁当作りなど、ご家庭での細やかなご協力の数々、またPTA活動では西原の日や地域PTA文化祭等の行事への積極的な参加など、常に子どもたちの目線で取り組んでいただけたことは、子どもたちの確かな活力となりました。

地域の皆様には、書道・ミシン・読み聞かせといった学校支援ボランティアの皆様による学習支援、毎日の登下校の見守りなど、地域の皆様の深い愛情のおかげで、子どもたちは安心して学校生活を送ることができ、学びをより豊かなものにできました。本当にありがとうございました。

この素晴らしい学校で最後を飾れたことは、私の誇りです。そして、子どもたちの笑顔は私の宝物です。今後とも、本校児童を温かく見守っていただければ幸いです。 西原小校長 金子 渉

転出・退職者	転入者
金子 渉 ⇒ 築瀬小相談学級へ	伊藤 雅幸 瑞穂野南小から
松本 吉広 ⇒ 退職	大和 昂弘 小山市立羽川小から
藤井創太郎 ⇒ 城山中央小へ	茨城 安里 石井小から
北村由美子 ⇒ 姿川第一小へ	※ 代替職員・会任職の後任については、後日、改めてお知らせします。
小林 真理 ⇒ 晃宝小へ	
小堀 悦男、大野 藍	
竹村 陽子、西田 優花 ⇒ 退職	

